

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第54期(決算日 2020年1月17日)
第55期(決算日 2020年2月17日)
第56期(決算日 2020年3月17日)
第57期(決算日 2020年4月17日)
第58期(決算日 2020年5月18日)
第59期(決算日 2020年6月17日)

(作成対象期間 2019年12月18日～2020年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）		
信託期間	約10年間（2015年6月26日～2025年6月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	円	%	%	%	百万円
30期末（2018年1月17日）	5,061	140	△	3.6	—	96.8	118,356
31期末（2018年2月19日）	4,610	140	△	6.1	—	99.1	100,675
32期末（2018年3月19日）	4,514	140		1.0	—	98.4	97,297
33期末（2018年4月17日）	4,237	140	△	3.0	—	98.7	90,945
34期末（2018年5月17日）	4,000	140	△	2.3	—	98.4	86,153
35期末（2018年6月18日）	3,913	140		1.3	—	98.3	82,342
36期末（2018年7月17日）	3,908	90		2.2	—	97.8	80,283
37期末（2018年8月17日）	3,812	90	△	0.2	—	98.3	73,577
38期末（2018年9月18日）	3,534	90	△	4.9	—	98.4	65,718
39期末（2018年10月17日）	3,591	90		4.2	—	98.7	64,971
40期末（2018年11月19日）	3,610	90		3.0	—	98.5	63,812
41期末（2018年12月17日）	3,406	90	△	3.2	—	98.4	59,170
42期末（2019年1月17日）	3,285	90	△	0.9	—	98.4	56,667
43期末（2019年2月18日）	3,393	90		6.0	—	98.2	58,038
44期末（2019年3月18日）	3,325	60	△	0.2	—	98.4	56,238
45期末（2019年4月17日）	3,253	60	△	0.4	—	98.5	52,902
46期末（2019年5月17日）	3,133	60	△	1.8	—	98.5	49,595
47期末（2019年6月17日）	3,182	60		3.5	—	98.4	49,145
48期末（2019年7月17日）	3,213	60		2.9	—	98.4	48,750
49期末（2019年8月19日）	2,998	60	△	4.8	—	98.6	44,313
50期末（2019年9月17日）	2,948	60		0.3	—	98.4	43,053
51期末（2019年10月17日）	2,938	60		1.7	—	98.5	42,397
52期末（2019年11月18日）	2,844	60	△	1.2	—	98.1	40,676
53期末（2019年12月17日）	2,819	60		1.2	—	98.0	39,941
54期末（2020年1月17日）	2,835	60		2.7	—	97.9	39,649
55期末（2020年2月17日）	2,780	60		0.2	—	98.2	38,012
56期末（2020年3月17日）	1,504	60	△	43.7	—	97.6	19,894
57期末（2020年4月17日）	1,562	30		5.9	—	97.7	20,529
58期末（2020年5月18日）	1,332	30	△	12.8	—	98.5	17,144
59期末（2020年6月17日）	1,566	30		19.8	—	98.3	19,956

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第54期首：2,819円

第59期末：1,566円（既払分配金270円）

騰落率：△36.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドの下落が要因となり、基準価額は下落しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドについては、米国のリートに投資し、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うとともに、リートならびに通貨（円に対するブラジル・リアル）のカバードコール戦略を構築した

結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、リートが下落したことやブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引については、現物リートは当作成期を通して見ると下落したものの、下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積の方が大きくなったため、リーートのオプションはマイナス要因となりました。通貨のオプションの影響は軽微でした。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第54期	(期 首) 2019年12月17日	円 2,819	% —	% —	% 98.0
	12月末	2,884	2.3	—	99.2
	(期 末) 2020年1月17日	2,895	2.7	—	97.9
第55期	(期 首) 2020年1月17日	2,835	—	—	97.9
	1月末	2,771	△ 2.3	—	99.3
	(期 末) 2020年2月17日	2,840	0.2	—	98.2
第56期	(期 首) 2020年2月17日	2,780	—	—	98.2
	2月末	2,460	△ 11.5	—	98.1
	(期 末) 2020年3月17日	1,564	△ 43.7	—	97.6
第57期	(期 首) 2020年3月17日	1,504	—	—	97.6
	3月末	1,588	5.6	—	98.4
	(期 末) 2020年4月17日	1,592	5.9	—	97.7
第58期	(期 首) 2020年4月17日	1,562	—	—	97.7
	4月末	1,517	△ 2.9	—	99.2
	(期 末) 2020年5月18日	1,362	△ 12.8	—	98.5
第59期	(期 首) 2020年5月18日	1,332	—	—	98.5
	5月末	1,537	15.4	—	99.0
	(期 末) 2020年6月17日	1,596	19.8	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 12. 18 ~ 2020. 6. 17)

■米国不動産市況

i シェアーズ米国不動産 E T F（配当再投資）は米ドルベースで下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけて、米中両国が通商協議の第1段階の合意に達して貿易摩擦に対する懸念が後退したことや米国の長期金利の低下などを背景に、上昇基調となりました。2月下旬に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりリスク回避の動きが強まり、米国リート市況は下落しました。O P E C プラス（O P E C 加盟国とロシアなど非加盟国）で協調減産の協議が不調となり原油価格が急落したことも、投資家心理を悪化させました。3月下旬以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融緩和策の強化や米国における大規模な経済対策の成立により投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、米国リート市況は上昇に転じました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首より、米中両国が通商協議の第1段階の合意に達して貿易摩擦に対する懸念が後退したことなどはレアルの支援材料となりましたが、2020年に入ると、ブラジル中央銀行が利下げを行うとの見方が強まったことなどからレアルは軟調に推移しました。1月下旬以降は、中国の新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念が強まり、続落しました。2月下旬から5月上旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりリスク回避の動きが強まったことや、原油価格が急落したことなどを受けて、レアルは下げ幅を広げる展開となりました。また、ブラジルの主要閣僚であり国民の人気も高いモロ法相の辞任をめぐる政治リスクの悪化懸念も悪材料となりました。5月中旬に入ると、原油価格の上昇や世界各国で経済活動再開の動きが広まってきたことなどを背景に、レアルは上昇に転じました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを合計1.50%ポイント引き下げ、0.00~0.25%としました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を合計1.50%ポイント引き下げ、3.00%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※アメリカン・リート・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T F（上場投資信託証券）を活用し、米国のリートへの投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはE T Fにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 12. 18 ～ 2020. 6. 17）

■当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T F（上場投資信託証券）を活用し、米国のリートへの投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするE T Fにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行

い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2019年12月18日 ～2020年1月17日	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	30	30	30
対基準価額比率 (%)	2.07	2.11	3.84	1.88	2.20	1.88
当期の収益 (円)	47	50	37	30	29	30
当期の収益以外 (円)	12	9	22	—	0	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,827	2,818	2,796	2,801	2,800	2,807

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 47.65円	✓ 50.71円	✓ 37.88円	✓ 34.38円	✓ 29.20円	✓ 37.09円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 2,839.91	✓ 2,827.62	✓ 2,818.42	2,796.61	2,796.67	2,796.74
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	✓ 4.35	3.52
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,887.57	2,878.34	2,856.30	2,830.99	2,830.22	2,837.36
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,827.57	2,818.34	2,796.30	2,800.99	2,800.22	2,807.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T F（上場投資信託証券）を活用し、米国のリートへの投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはE T Fにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期 (2019. 12. 18～2020. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	13円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,102円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(8)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.069	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0.069)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	14	0.686	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

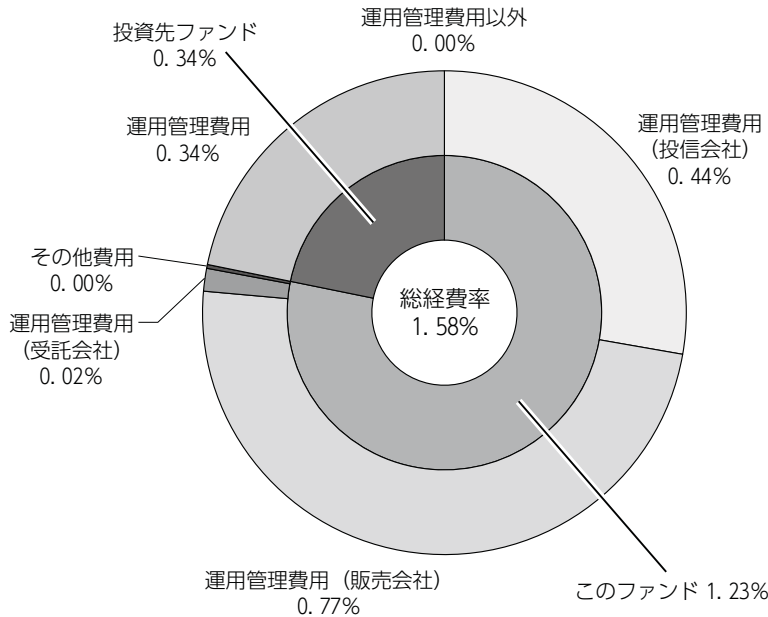
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.58%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注 1）①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注 2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注 3）各比率は、年率換算した値です。
（注 4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注 5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注 6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注 7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年12月18日から2020年 6月17日まで)

決 算 期	第 54 期 ～ 第 59 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	256,563.952	3,474,891	459,593.91197	6,640,020

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年12月18日から2020年 6月17日まで)

第 54 期 ～ 第 59 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	14,013.45291	150,000	10	DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	459,593.91197	6,640,020	14

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 59 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND	1,815,131.56885	19,623,387	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第53期末	第 59 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年 6月17日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	19,623,387	96.2
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	770,830	3.8
投資信託財産総額	20,394,377	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型 米国リート・αフットロ（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年1月17日）、（2020年2月17日）、（2020年3月17日）、（2020年4月17日）、（2020年5月18日）、（2020年6月17日）現在

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
(A) 資産	40,652,337,653円	38,990,721,295円	20,978,563,785円	21,029,855,756円	17,639,221,331円	20,394,377,371円
コール・ローン等	1,836,386,642	1,671,117,302	1,554,192,539	969,550,332	743,504,214	770,830,411
投資信託受益証券（評価額）	38,815,791,409	37,319,444,407	19,424,211,660	20,060,145,838	16,895,557,547	19,623,387,390
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,602	159,586	159,586	159,586	159,570	159,570
(B) 負債	1,002,497,253	978,277,420	1,083,648,729	500,683,296	494,289,362	437,544,354
未払収益分配金	839,094,877	820,391,928	793,580,381	394,261,314	386,187,290	382,242,217
未払解約金	121,032,559	116,908,102	257,247,050	84,571,383	86,861,974	34,227,112
未払信託報酬	42,184,525	40,609,357	32,291,033	21,191,547	20,444,757	20,144,034
その他未払費用	185,292	368,033	530,265	659,052	795,341	930,991
(C) 純資産総額（A－B）	39,649,840,400	38,012,443,875	19,894,915,056	20,529,172,460	17,144,931,969	19,956,833,017
元本	139,849,146,275	136,731,988,134	132,263,396,973	131,420,438,105	128,729,096,870	127,414,072,632
次期繰越損益金	△ 100,199,305,875	△ 98,719,544,259	△ 112,368,481,917	△ 110,891,265,645	△ 111,584,164,901	△ 107,457,239,615
(D) 受益権総口数	139,849,146,275口	136,731,988,134口	132,263,396,973口	131,420,438,105口	128,729,096,870口	127,414,072,632口
1万口当り基準価額（C／D）	2,835円	2,780円	1,504円	1,562円	1,332円	1,566円

* 第53期末における元本額は141,699,370,941円、当作成期間（第54期～第59期）中における追加設定元本額は7,490,695,287円、同解約元本額は21,775,993,596円です。

* 第59期末の計算口数当りの純資産額は1,566円です。

* 第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は107,457,239,615円です。

■損益の状況

第54期 自2019年12月18日 至2020年1月17日 第56期 自2020年2月18日 至2020年3月17日 第58期 自2020年4月18日 至2020年5月18日
 第55期 自2020年1月18日 至2020年2月17日 第57期 自2020年3月18日 至2020年4月17日 第59期 自2020年5月19日 至2020年6月17日

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A) 配当等収益	693,058,612円	734,280,971円	533,554,067円	460,265,835円	396,492,426円	475,463,114円
受取配当金	693,098,109	734,296,659	533,580,040	460,284,726	396,510,394	475,474,417
受取利息	395	1,196	68	1,035	504	715
支払利息	△ 39,892	△ 16,884	△ 26,041	△ 19,926	△ 18,472	△ 12,018
(B) 有価証券売買損益	413,281,861	△ 625,719,453	△ 16,568,885,687	703,607,190	△ 2,951,682,980	2,907,561,740
売買益	419,071,407	12,132,315	220,594,300	710,099,709	33,435,230	2,946,652,569
売買損	△ 5,789,546	△ 637,851,768	△ 16,789,479,987	△ 6,492,519	△ 2,985,118,210	△ 39,090,829
(C) 信託報酬等	△ 42,369,817	△ 40,792,098	△ 32,453,265	△ 21,321,430	△ 20,581,875	△ 20,280,368
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,063,970,656	67,769,420	△ 16,067,784,885	1,142,551,595	△ 2,575,772,429	3,362,744,486
(E) 前期繰越損益金	△ 31,869,186,586	△ 30,575,067,212	△ 29,981,281,708	△ 45,372,817,945	△ 43,408,870,324	△ 45,597,331,212
(F) 追加信託差損益金	△ 68,554,995,068	△ 67,391,854,539	△ 65,525,834,943	△ 66,266,737,981	△ 65,213,334,858	△ 64,840,410,672
（配当等相当額）	(39,716,028,361)	(38,662,726,083)	(37,277,382,829)	(36,753,238,347)	(36,001,287,488)	(35,634,498,675)
（売買損益相当額）	(△ 108,271,023,429)	(△ 106,054,580,622)	(△ 102,803,217,772)	(△ 103,019,976,328)	(△ 101,214,622,346)	(△ 100,474,909,347)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 99,360,210,998	△ 97,899,152,331	△ 111,574,901,536	△ 110,497,004,331	△ 111,197,977,611	△ 107,074,997,398
(H) 収益分配金	△ 839,094,877	△ 820,391,928	△ 793,580,381	△ 394,261,314	△ 386,187,290	△ 382,242,217
次期繰越損益金（G＋H）	△ 100,199,305,875	△ 98,719,544,259	△ 112,368,481,917	△ 110,891,265,645	△ 111,584,164,901	△ 107,457,239,615
追加信託差損益金	△ 68,727,571,793	△ 67,518,757,595	△ 65,818,314,525	△ 66,266,737,981	△ 65,213,334,858	△ 64,840,410,672
（配当等相当額）	(39,543,451,636)	(38,535,823,027)	(36,984,903,247)	(36,753,238,347)	(36,001,287,488)	(35,634,498,675)
（売買損益相当額）	(△ 108,271,023,429)	(△ 106,054,580,622)	(△ 102,803,217,772)	(△ 103,019,976,328)	(△ 101,214,622,346)	(△ 100,474,909,347)
分配準備積立金	—	—	—	57,571,892	45,726,782	135,335,526
繰越損益金	△ 31,471,734,082	△ 31,200,786,664	△ 46,550,167,392	△ 44,682,099,556	△ 46,416,556,825	△ 42,752,164,469

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	666,518,152円	693,488,872円	501,100,799円	451,833,206円	375,910,548円	472,613,718円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	39,716,028,361	38,662,726,083	37,277,382,829	36,753,238,347	36,001,287,488	35,634,498,675
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	56,003,524	44,964,025
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	40,382,546,513	39,356,214,955	37,778,483,628	37,205,071,553	36,433,201,560	36,152,076,418
(f) 分配金	839,094,877	820,391,928	793,580,381	394,261,314	386,187,290	382,242,217
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	39,543,451,636	38,535,823,027	36,984,903,247	36,810,810,239	36,047,014,270	35,769,834,201
(h) 受益権総口数	139,849,146,275□	136,731,988,134□	132,263,396,973□	131,420,438,105□	128,729,096,870□	127,414,072,632□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	60円	60円	60円	30円	30円	30円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-
ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。
（注）2020年6月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

純資産計算書
2019年9月30日

資産		
金融資産（損益通算後の評価額）	¥	42, 622, 045, 557
未収：		
売却済みの投資		—
資産合計		42, 622, 045, 557
負債		
未払：		
受益証券の買戻し		—
負債合計	¥	—
資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）	¥	42, 622, 045, 557

包括利益計算書

2019年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	¥	12,959,986,808
金融資産および金融負債に係る純実現損（損益通算後の評価額）		(698,776,516)
金融資産および金融負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(7,970,688,424)
収益（損失）合計		4,290,521,868

費用

報酬支払代行人手数料		187,528,900
費用合計		187,528,900

営業利益（損失）

4,102,992,968

包括利益（損失）合計

（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増（減））

¥ 4,102,992,968

2019年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	米国 REIT クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
原価	107,710,491,315 円
公正価値	42,622,045,557 円
評価損	(65,088,445,758) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国のリートへ投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型 米国リート・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第59期の決算日（2020年6月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年12月18日～2020年6月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年6月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

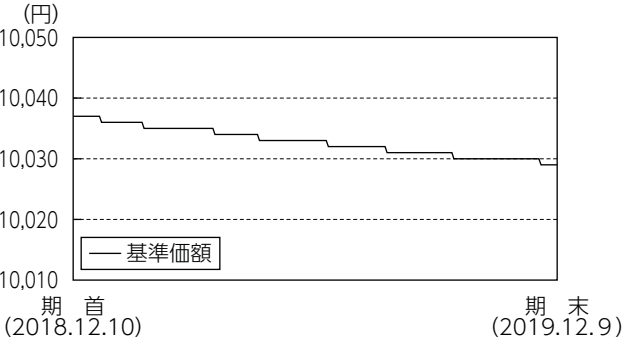
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,037	—	—
12月末	10,037	0.0	—
2019年 1 月末	10,036	△0.0	—
2 月末	10,035	△0.0	—
3 月末	10,034	△0.0	—
4 月末	10,034	△0.0	—
5 月末	10,033	△0.0	—
6 月末	10,032	△0.0	—
7 月末	10,032	△0.0	—
8 月末	10,031	△0.1	—
9 月末	10,030	△0.1	—
10月末	10,030	△0.1	—
11月末	10,029	△0.1	—
(期末)2019年12月 9 日	10,029	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,029円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 330,004	千円 — (330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円 330,004		千円	
801 国庫短期証券 2019/3/18			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	38,397,784	100.0
投資信託財産総額	38,397,784	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	38,397,784,417円
コール・ローン等	38,397,784,417
(B) 負債	231,026
その他未払費用	231,026
(C) 純資産総額(A－B)	38,397,553,391
元本	38,285,006,118
次期繰越損益金	112,547,273
(D) 受益権総口数	38,285,006,118口
1万口当り基準価額(C／D)	10,029円

* 期首における元本額は69,103,393,644円、当作成期間中における追加設定元本額は48,176,499,313円、同解約元本額は78,994,886,839円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）5,951,591,455円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）17,806,836,243円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、ダイワJリートベア・ファンド（適格機関投資家専用）965,948,988円、通貨選択型米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）3,421,817,396円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）963,651,156円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,531,319,164円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPIXベア・ファンド（適格機関投資家専用）7,635,801,481円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－USTライアングル－997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,029円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 33,300,262円
受取利息	347,877
支払利息	△ 33,648,139
(B) その他費用	△ 13,012,117
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 46,312,379
(D) 前期繰越損益金	255,922,474
(E) 解約差損益金	△260,877,509
(F) 追加信託差損益金	163,814,687
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	112,547,273
次期繰越損益金(G)	112,547,273

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。